

気象予報士に学ぶお天気教室



実施
学校名 大田区立道塚小学校

日時 令和6年10月3日（木）

場所 教室

プログラム 概要

- ・テレビのお天気キャスターとして活躍している気象予報士の片山美紀氏を講師に迎え、普段テレビで見る天気予報がどうやって作られているのかを学びました。また、代表の児童は、皆の前で天気予報を伝えるお天気キャスター体験を行いました。
- ・児童は、クイズや雲を作る実験、お天気キャスター体験などを通じて、天気について学び、気象予報士、お天気キャスターの仕事を知ることができました。

体験風景

1 お天気キャスターの仕事紹介



気象予報士の仕事内容やテレビのお天気コーナーができるまでの段取りを学びました。講師から、「天気予報を見てくれている人にしっかり伝わるよう、説明を工夫している」という話がありました。

2 天気について学ぶ



雨粒の形、台風の名前、雲の種類など、天気に関するクイズに、児童が挑戦しました。
「積乱雲を見たら天気の急変に気を付けて」という解説の後には、思わずこの日の雲をみんなでながめました。

3 雲を作る実験



ペットボトルの中に雲を発生させる実験を行いました。圧力の上がったボトルからキャップを外した瞬間に「ボン」という音とともにペットボトルの中に雲が発生し、驚いた様子で観察していました。

4 お天気キャスター体験



代表の児童が、お天気キャスターの体験をしました。原稿を読みながら画面を指さし、最後は、自らが考えた視聴者へ向けたアドバイスも加え、「相手に伝わる天気予報」に取り組みました。

参加した 児童の声・ 反応

- ・雲ができる原理や、種類などが分かりました。今日学んだことをどこかで活かしたいです。
- ・お天気キャスター体験では、緊張しましたが、お天気キャスターは、もっと大きいプレッシャーでもがんばっていると思ったら、応援したくなりました。
- ・片山さんは、ニュースを見てくれた人たちにちゃんと伝わるように考えていて、すごきだなと思いました。